



# 「英語学」って何？



## 英語学は、英語をさまざまな角度から研究する学問

本書では英語学にもとづいて英語の「なぜ」を解説していきますが、そもそも英語学とは何か、ご存じでしょうか。一言でいえば、英語学は英語という言語をさまざまな角度から研究する学問です。

## 文法的には×なのに、実社会では使われているのはなぜ？

一つの英文を例にお話しましょう。

I don't have no money. (すっからかんだ)

学校では、この表現は二重否定なので文法的に誤りであると教えられます。正しくは、I have no money. や I don't have any money. であり、学校の英語のテストではこちらが○になります。

しかし、この I don't have no money. という表現は実際にはよく使われています。この事実に対して、英語学ではたとえば以下のようなことを考えます。

- どんな場面で使うのか？
- どんな階層の人たちが使うのか？
- 実際に使われているのに、なぜ誤りだという人たちがいるのか？
- 教養がある人でも口語ではよく使うのはなぜか？

「英語史」の側面から考えると、400年ほど前のシェイクスピア、600年ほど前のチョーサー(『カンタベリー物語』を著した「英詩の父」)

の時代には当たり前に二重否定を使っており、三重否定、四重否定もありました。英語の文献(文字として残る記録)を調査して英語の変遷を研究するのが「英語史」です。

また、この二重否定の表現をどんな社会的階層の人がどんな場面で使うのか、その背後にはどんなしくみがあるのかを研究するのが「社会言語学」です。

## ◎「英語学」は難しい「英語」も「学」ぶわけではない

言葉と社会との関わりやコミュニケーションを研究する「社会言語学」と、広く「英語学」が私の専門です。



井上先生

英語の歴史を研究する「英語史」と、広く「英語学」が私の専門です。



堀田先生

英語学のおもしろさを、「英語史」と「社会言語学」の観点から、さまざまなテーマを通して紹介します！



言葉の「なぜ」を歴史や社会、心理など多角的に探るのが「英語学」の醍醐味ですね。

英語学には英米などの「英語圏の流派の言語学」という意味合いで使うこともあります。

